

## 貝毒プランクトン調査

調査年月日	令和2年4月22日				単位：cells/ml			
種類	／地点番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		魚神山	家串	柏崎	室手	平山	外泊	成川
<貝毒プランクトン>								
	アレキサンドリウム属	0	0	0		0.004		0
	ギムノディニウム・カテナータム	0	0	0		0.030		0.009
	ディノフィシス属	0	0	0		0.003		0
<有害プランクトン>								
	カレニア・ミキモトイ	0	0	0		0		0
	コクロディニウム・ポリクリコイデス	0	0	0		0		0
	ゴニオラックス・ポリグランマ	0	0	0		0		0
	シャトネラ属	0	0	0		0		0
状況	<p>今回の調査では、平山にてギムノディニウム・カテナータムが0.030 cells/ml(危険濃度は0.1 cells/ml)、アレキサンドリウム属が0.004 cells/ml(危険濃度は500 cells/ml)、ディノフィシス属が0.003 cells/ml(危険濃度は500 cells/ml)確認されました。</p> <p>また、成川にてギムノディニウム・カテナータムが0.009 cells/ml確認されました。</p> <p>御荘湾および柏崎にて二枚貝の出荷自主規制が講じられていますので、今後の動向にご注意ください。</p> <p>0.3,5 m各層等量混合海水1000 mlを濃縮検鏡。</p>							

